

令和２年度開始事業の事業完了報告書について

令和２年度に当協会の公益目的事業である「国内産麦の研究開発支援事業」に採択した３事業が令和６年度を以て５年間の事業(研究開発)期間が完了し、その間の成果となる事業完了報告書が提出されました。

協会では、この事業完了報告書を外部有識者からなる審査委員に審査を依頼し、３事業とも適切に事業が行われた旨の報告を受けました。

また、協会は、事業実施期間中、研究機関等に赴いての現地調査、成績検討会等への参加、進捗状況の聴取などを通じて事業の状況把握に努めてきました。

これら審査員の評価、協会の調査結果などを踏まえ総合的に判断した結果、３事業いずれも本事業の目的である「従来よりも加工的に優れ、収量や品質の高位安定化、病虫害や穂発芽などに抵抗性の強い品種の開発・育成」に十分寄与する研究開発事業であったと評価しました。

整理番号	研究開発のテーマ	事業実施者	助成金総額
令２－１	オール北海道で取り組む穂発芽耐性が向上し安定生産可能な寒地向け秋まきパン用小麦の育成	国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構 北海道研究センター	100,555,637 円
令２－２	耐病性に優れた府県向け高品質安定多収小麦品種育成に向けた有望品種の開発	国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構	100,739,168 円
令２－３	耐病性に優れ安定多収で、高品質で加工適性に優れる精麦用大麦・裸麦品種育成に向けた有望系統の開発	国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構	100,513,334 円

注：助成金総額は、令和２年度から６年度に交付した助成金で物価高騰に伴う臨時的助成額を含む

個々の事業の事業完了報告書は、以下のリンクをクリックしてください。

[令２－１ 事業完了報告書](#)

[令２－２ 事業完了報告書](#)

[令２－３ 事業完了報告書](#)